

昭和20年5月、諺間海軍航空隊から神風特別攻撃隊員として出撃した三豊出身のパイロットがいました。重信隆丸少尉(財田町)で、長さ10mにもおよぶ遺書を書き残しました。はじめに、すでに亡くなっていた祖母と妹あてに書き、あと両親、兄弟へと続いています。決して「特攻」を美化することはできません。しかし、純粋な気持ちで国・家族・愛する人を守ろうとした若者たちがいた事実は後世に語りついでいかなければなりません。



▲仁尾町 津島神社の防空壕

航空隊があつた山の反対側になる仁尾町でも防空壕が掘られました。軍用のものと比べる素掘りの簡単なものですが、当時の小学生・中学生も金つちとのみで一生懸命掘っていました。地元津島神社の横に3カ所残っています。銃撃もなく実際には使われることはありませんでした。当時は兵士以外の皆さんも苦勞していた事実も、伝えていかなければなりません。

じんけん探訪③

大きく変わった 部落の起源

教科書の内容が変わった

すでに鎌倉時代に差別される人がいた、と今は学校で学習しています。かつては徳川時代に差別が作られたと説明されていましたが、最近では考えが変わっています。たとえば6年生の社会科学教科書ではこんな記載があります。「銀閣寺の素晴らしい庭園は当時差別されていた人たちの手によって作られた、またこのような人たちは造園や芸能などの分野で活躍した」とあります。

8月の同和問題啓発強調週間にあたり、ここでは最近の教科書で取り上げられている新しい同和問題の考え方を紹介します。教科書を囲んで家庭で同和問題について話し合ってみてください。

起源は江戸時代以前

同和問題の研究が進んだ結果、差別の起源などについて従来の学説が変更されています。大きな変更は主に次のようなことです。

第一は、差別の起源が中世にまでさかのぼったことです。これまでは「江戸幕府が作った身分制度によって始まった」と理解されていましたが、「近世政治起源説」が、この考えが否定されています。

第二は、原因について、差別された人たちが造園や芸能などの分野で優れた才能や能力を発揮していた事実に注目しています。各地で多様な歴史などもあつて今なお学者の間で論争がありますが、すぐれた才能や能力を持つ「異能者」に対して民衆が「自分たちとは違う人たち」「住む世界が違う人たち」などと畏敬の念を持つて特定の人たちを特別に扱った、このことを差別が始まった重要な要素の一つと見えています。いわゆる「畏(おそ)れ意識」です。

社会を支えた生業

第三は、生業を前向きに評価し、職業や貧困などから差別されるようになったというマイナスイメージ(「低位性」)からの脱却をすすめています。たとえば近代医学の基礎となった杉田玄白らの『解体新書』。解剖で見た内臓がオランダの医学書と同じだっ

たことから翻訳をすることになりました。このとき解剖した被差別民の腑分け(ふわけ・解剖のこと)技術が医学を支えた教科書は評価されています。

差別される人たちは他にも斃牛(へいぎゅう・病気で倒れた牛馬)処理によって伝染病から社会を守ったり、下級警察業務などに従事して治安維持などに貢献したりしていました。(東京書籍『新編新しい社会6上』などを参考にしました)

【写真・文 香川人権研究所】



▶ 銀閣寺とその庭園(提供・香川人権研究会)

地デジ説明会を開催!

総務省では、地上デジタル放送に関する説明会を行います。都合のよい会場へお越しください。(事前申し込み不要)

豊中・山本・財田・三野町吉津( )の各地区は、来年1月に開催の予定です。

問い合わせ 総務省香川県テレビ受信者支援センターデジサガ香川 説明会事務局 087-822-9213

地デジ説明会 会場一覧

開催日	開始時刻	地区	会場
8月1日(土)	15:00~	高瀬町上高瀬	共同福祉施設
	18:00~	高瀬町下勝間	勝間コミュニティセンター
	15:00~	高瀬町比地	高瀬町保健センター
2日(日)	18:00~	高瀬町佐股	二ノ宮地区農業構造改善センター
	15:00~	高瀬町上高瀬	共同福祉施設
	18:00~	高瀬町下麻	麻地区農業構造改善センター
5日(水)	15:00~	仁尾町仁尾丁	仁尾町文化会館
	18:00~	仁尾町仁尾甲	曾保小学校体育館
	15:00~	仁尾町仁尾丁	仁尾町文化会館
8日(土)	18:00~	詫間町粟島	粟島開発総合センター
	15:00~	詫間町志々島	志々島老人いこいの家
	18:00~	詫間町詫間	詫間町福祉センター
9日(日)	14:00~	詫間町大浜	荘内自然休養村センター
	15:00~	詫間町箱	箱浦ビクターハウス
	18:00~	詫間町松崎	松崎コミュニティセンター
12日(水)	15:00~	詫間町詫間	詫間町福祉センター
	18:00~	三野町下高瀬	社会福祉センター
	15:00~	三野町大見	大見公民館
18日(火)	18:00~	三野町下高瀬	社会福祉センター
	15:00~	三野町下高瀬	社会福祉センター
	18:00~	三野町下高瀬	社会福祉センター
19日(水)	15:00~	三野町下高瀬	社会福祉センター
	18:00~	三野町下高瀬	社会福祉センター
	15:00~	三野町下高瀬	社会福祉センター

選挙のため、8月30日に予定していた三野町老人福祉母子健康センターでの説明会は、来年1月に延期します。

地デジ対応の 支援をします

総務省では、経済的な理由等で地上アナログ放送から地上デジタル放送に移行することが難しい世帯に対する支援を予定しています。

支援の対象となるのは?

日本放送協会(NHK)の受信料の全額免除を受けている世帯(具体的には、生活保護世帯、市町民税非課税の障害者世帯、社会福祉事業施設入所者)が対象です。

すでに、地上デジタル放送を視聴され

ている世帯は支援の対象外です。受けられる支援の内容は?

現在お持ちのアナログテレビに取り付ける「簡易なチューナー」の無償給付をします。アンテナ改修等が必要な場合には、その支援も行います。

申し込み先は?

未定です。決まりしだい申し込み方法を改めてお知らせします。

支援の開始の時期は?

平成21年秋以降を予定しています。具体的な日程は、改めて周知する予定です。

注意いただきたい点

支援の申し込みには、NHKと受信

契約を結び、全額免除の適用を受けることが必要です。なるべく早めに契約手続き等をお願いします。

支援は現物給付です。ご自身で購入したチューナー、アンテナ等の費用を精算することはできません。

問い合わせ

支援制度全体については、総務省地上デジタルコールセンター

0570・070101

NHKとの受信契約、受信料免除については、NHK視聴者コールセンター

0570・077077

7・8月は夏の非行防止 県民運動期間です。不審者から子どもを守るため、警察・市・地域・家庭がそれぞれ立場で、また相互の連携をしながら取り組んでいます。

不審者対策として、次のことに気を付けましょう。

基本として、不審者に対しスキを見せないこと。目立つ派手な服装を避け不審な声かけには毅然とした態度をとります。夕方や夜間の自転車・徒歩での外出は極力避けましょう。昼間でも小さい子どもは人気の少ない場所での遊びは注意が必要です。

不審者に遭遇したり身に危険を感じるなどした場合は、防犯ブザーを使ったり、大きな声を出して近くの人に助けを求めましょう。近くの民家に駆け込むことも大切です。

不審者に対する対応について家庭で具体的に話し合い「子どもSOS」の家を覚えておくことも大切です。



一般用 62-1115  
少年相談 62-1116

心子救

少年相談コーナー  
相談電話 62・1116